

第3回近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想推進会議 会議録

<開催概要>

日時：令和6年8月23日（金） 14時00分から15時40分まで

場所：産業会館 1階多目的ホール

<出席者（敬称略）>

座長 青山 公三

副座長 岡井 有佳

関係団体委員 辻 有紀・山口 陽二・石川 秀一・足立 高広

森下 康弘・多田 重光・吉田 美恵子・高松 靖司

行政委員 正木 利一・松永 弘道・中島 直樹

事務局 米田 晃之（都市整備部長）・飯田 克夫（建設部長）

脇坂 英昭（産業観光部長）

藤井 康博（都市整備部副部長）

桂 省吾（産業観光部参事）

中本 洋（都市計画課長）・木田 健士（道路建設課長）

倉辻 崇秀（交通政策課長）・木田 陽子（観光振興課長）

内藤 良（都市計画課副課長）

大西 礼恵（都市計画課主任）

人見 僚一（都市計画課主任）

阿部 章蔵（都市計画課主任）

<欠席者>

副座長 大庭 哲治

<傍聴者数（報道含む）>

12名

<会議次第>

1. 第2回推進会議（R6.3.28）の振り返りと今後の予定（案）について
2. 実現化方策の検討について
3. にぎわいの種類と動線について
4. 自由通路の規模・機能・配置方針について
5. 暫定駅前広場（西口）の利用状況について
6. 駅周辺地区における最近の動向について

（会議資料） 資料－1 近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本計画の検討について

<会議概要>

《1. 第2回推進会議（R6.3.28）の振り返りと今後の予定（案）について
～ 4. 自由通路の規模・機能・配置方針について》

青山座長	・ 暫定駅前広場（西口）の供用開始や京阪バスのラッピングバスの実証運行開始、ニンテンドーミュージアムのオープン日（10月2日）の発表などを受け、近鉄小倉駅周辺のまちづくりが動き出したと感じている。 ・ 第2回推進会議（R6.3.28）の振り返りと今後の予定（案）、実現化方策の検討、にぎわいの種類と動線、自由通路の規模・機能・配置方針について、事務局にて説明をお願いします。
事務局	・ 〈資料説明〉
青山座長	・ 今の説明に関し、ご意見・ご質問があればお願いします。
山口委員	・ 跨線自由通路の完成時期を提示してほしい。先日、近鉄小倉駅の地下通路で、足の不自由な方が手すりを使って階段を上り下りしているのを見かけ、跨線自由通路の早急な整備の必要性を感じた。お金や時間がかかることは分かっているが、早く整備してほしいというのが地域の思いである。 ・ 京都京阪バスの実証運行について、運行開始時刻が午前11時30分からとなっているが、可能であれば午前10時台から運行してほしい。また、市役所や文化センター行きの便も追加してほしい。 ・ 駅前広場（東口）に道の駅を配置してほしい。もし、駅前広場（東口）に配置することが難しいのであれば、歴史公園（茶づな）に配置してはどうか。
事務局	・ 既存の地下通路では不便なことは理解しているが、近鉄小倉駅東口は民有地が多いため、地権者の意見を踏まえながら駅前広場（東口）の検討を深めた上で、跨線自由通路についても合わせて検討していくこととなる。 ・ 京都京阪バスの運行時刻や便数については、実証運行を通して利用状況を確認し、京都京阪バスが検討を行っていくと思われる。 ・ 駅前広場（東口）での道の駅の配置は、今のところ検討していない。
青山座長	・ 駅前広場（東口）の検討とあわせて跨線自由通路について検討していくことは理解できた。跨線自由通路の整備時期の目標はあるのか。
事務局	・ 公共事業のため、様々な段階を踏む必要がある。また、地権者の意向によって事業手法を決定するが、どの事業手法かにより事業化の時期が前後する。地域住民が既存の地下通路を不便に感じていることは理解しており、段階を踏んで一日でも早く跨線自由通路を整備したいと考えている。
山口委員	・ 跨線自由通路のエスカレーターの設置を今後検討するとのことだが、エスカレーターは必ず設置するべきではないか。

	・ 駅前のにぎわい創出の方策として自動運転バスを導入してはどうか。
事務局	・ エスカレーターを設置については、ニンテンドーミュージアムのオープン後の歩行者の動きも見ながら検討していく。 ・ バスの自動運転については新たな移動手段の一つ。移動手段という点については、近鉄小倉駅周辺だけでなく宇治市全域における公共交通のあり方等も踏まえて、関係課を含めて検討が必要。
岡井副座長	・ 事業手法について、用地買収方式による街路事業では不整形な土地が残ってしまうため、土地区画整理事業の方が、メリットがあると考えられる。近年増加している「小規模で柔らかな土地区画整理事業」などの手法もある。 ・ 跨線自由通路の場合は、せめて早急な完成を目指してほしい。
事務局	・ 地権者には活用しやすい土地を残したいと考えており、地権者の意向を踏まえながらこの地区に適した事業手法を検討していく。 ・ 跨線自由通路については、近鉄と連携を密に協議をし、詳細を検討していく。
青山座長	・ 近鉄小倉駅東口の神楽田児童遊園に接している道路形状のものは民有地なのか。
事務局	・ 道路形状をしているが民有地である。
足立委員	・ 駅前広場（東口）の用地はどの程度創出されるのか。
事務局	・ 第2回推進会議でも提示した通り、駅前広場（東口）の面積は駅前広場の指針に基づき約 2,800 m²以上を想定しており、この規模の用地を生み出すことを検討している。
青山座長	・ 事業手法にかかわらず、その規模の用地を確保できるように努力していくということか。
事務局	・ その通りである。
青山座長	・ ニンテンドーミュージアムのオープン後も駅前が未整備のままでは、近鉄小倉駅のイメージがよくない。早急に事業手法を決定してほしい。
森下委員	・ 近鉄小倉駅からニンテンドーミュージアムまでは、どのような動線を想定しているのか。歩行者が歩きやすいまちをコンセプトとしてまちづくりの検討を進めてほしい。
事務局	・ 近鉄小倉駅からニンテンドーミュージアムまでは、駅前広場（東口）の歩行空間を利用した歩行者動線を想定している。駅前広場（東口）が完成するまでは、北側の市道小倉町 107 号線となる。 ・ 近鉄小倉駅と JR 小倉駅を結ぶカラー舗装や跨線自由通路整備などにより、近鉄小倉駅の東西を含めたウォークアブルなまちづくりを検討していく。
山口委員	・ 近鉄小倉駅周辺は緑が少ないため、緑地や公園の整備も検討してほしい。

青山座長	- この推進会議で出た意見を踏まえながら、まちづくりの検討を進めてほしい。 - 地権者の意向を踏まえ、速やかに事業手法を決定してほしい。
------	---

《5. 暫定駅前広場（西口）の利用状況について ～ 6. 駅周辺地区における最近の動向について》

青山座長	暫定駅前広場（西口）の利用状況、駅周辺地区における最近の動向について、事務局にて説明をお願いします。
事務局	〈資料説明〉
青山座長	今の説明に関し、ご意見・ご質問があればお願いします。
辻委員	- 暫定駅前広場（西口）の供用が開始されてから、路上駐車が減少したと感じている。 - 車両がロータリーの先頭まで進まず、中間位置に停車することが多いため、3台分の停車スペースがあるにもかかわらず2台しか停車できないことが多々ある。このような状況を改善するために、ロータリー内での停車ルールを設けるなどしてほしい。 - ロータリーの停車スペースを赤色で着色しているが、赤色だと停車禁止のエリアと勘違いされている方もいる。 - シェアサイクルの整備をぜひ進めてほしい。
事務局	- 停車ルールの設定、停車スペースのよりわかりやすい表示など、利用しやすくなる工夫について考えていく。 - シェアサイクルは民間の取り組みであり、動向を見守っていきたいと考えている。
多田委員	天候によって停車台数が増減すると思うが、資料に記載されている停車台数調査日の天候はどうだったか。
事務局	停車台数調査は晴れの日に行ったが、雨の日のデータの必要性も感じている。
辻委員	雨の日の方が、停車台数が多いと感じる。
岡井副座長	- 観光客の誘導のためにも、シェアサイクルのポートを近鉄小倉駅に設置してほしい。民間の取り組みとして見守るのではなく、民間と協議しながら、市として積極的にポートの設置を要望してほしい。 - 中宇治・小倉周遊体験型ゲームの開催により、お茶文化の普及に繋がればと思う。任天堂(株)にも協力してもらえれば、より普及に繋がるのでは。
事務局	- 京都京阪バス(株)、宇治商工会議所、関係課と調整しながら、まずは京都京阪バスの実証運行を路線の継続へつなげるよう尽力したい。 - シェアサイクルも一つの移動手段として考えている。
青山座長	シェアサイクルはぜひ導入してほしいが、単にポートを設置するのではなく、道路網の整備も併せて進める必要がある。パリでは自転車専用道路の整備、名古屋では自転車しか通行できない道路の整備を進

	め、自転車の利便性を向上させている。
吉田委員	- 近鉄小倉駅と JR 小倉駅を結ぶルートだけでなく、近鉄小倉駅と JR 宇治駅を結ぶルートもカラー舗装で示すなど、歩行しやすいになればよいと思う。 - 近鉄小倉駅から JR 宇治駅までの道は自動車の通行が多く、自転車での通行は危険である。 - 住んでいる方が移動しやすいということは、観光客の方も移動しやすい。ぜひ、そういうまちを目指してほしい。 - 跨線自由通路について、エレベーターだけでは移動人数が限られるため、エスカレーター（上下方向）を設置してほしい。 - 事業にスピード感がないと感じる。もっと早く整備を進めてほしい。
事務局	行政、地権者、地域の方は、みんな早期実現に向けて同じ方向を向いている。一日でも早い完成を目指して尽力していく。
青山座長	- エスカレーターは上下方向共の設置が望ましい。 - 自動車を運転していると、自転車が危険だと感じるが多々ある。自転車の安全面を考慮することは非常に重要である。
岡井副座長	パリでは、車両通行止めや一方通行、自転車だけの通行にするなど、あえて自動車が不便になる道路改造を行っている。これにより自動車の交通量が減少し、歩行者や自転車がより快適に通行できるようになっている。
青山座長	自動車の交通量を減少させる流れが世界的に広がっている。自転車や公共交通の利用が増加することで、カーボンニュートラルにも繋がる。
岡井副座長	道路幅員が狭いところでは、ゾーン 30 の設定により自動車の走行速度を抑制し、自動車・自転車・歩行者の共存を目指すなど検討できることはある。
多田委員	- シェアサイクルの台数が増えると、観光地において受け入れ側の駐輪する場所の確保が必要になる。 - 観光案内所に対し、若い方を中心にレンタサイクルを利用できるかの問い合わせが月に 5～6 件程ある。 「関西 Maas」は、目的地までの移動手段を組み合わせで示してくれるアプリの開発を進めており、その中でシェアサイクル・レンタサイクルも移動手段の一つとして考えられている。
青山座長	- 博多には空き時間の活用方法を提案するアプリがあり、日本各地で同じようなアプリの導入が進められている。これにより、初めて訪れた土地でも時間を有効に活用し、観光することができるようになる。 - 案内サインに QR コードを設置し、読み取ることで周辺の観光施設を確認できるようにしてはどうか。

青山座長	• 予定していた議事が終了したため、進行を事務局にお返しさせていただく。
事務局	• 次回の日程については、詳細が決まり次第連絡させていただく。